

令和8年度 入学試験問題 医学部（選抜Ⅰ期） 英語
出題意図および解答・解答例

1

<出題意図>

本問は、文法、語彙、語法、音声に関する理解を問うものであり、基礎的な事項から、やや高度な内容に至るまで、幅広い範囲から出題している。

<解答>

1. C	2. C	3. A	4. C	5. D
6. A	7. B	8. B	9. B	10. A
11. D	12. A	13. D	14. D	15. C

2

<出題意図>

文化によるコミュニケーション様式の違いと、その変化について述べた文章である。本問は、文脈に即した適切な表現を選択する能力、抽象的な表現を文脈に基づいて具体的に解釈する能力、並びに文章の論理展開を捉える能力を問うものである。

<解答・解答例>

1.

I	II	III	IV	V	VI	VII
C	A	C	D	D	C	A

2.

ア	イ	ウ	エ	オ
on [upon]	to	for	to	of

3.

西洋でさえ、過度の論争を避けるため、食事中に政治や宗教について議論しないなどの文化的工夫を発達させてきたが、そうした伝統が失われていくにつれ、論争を抑える効果も失われていくということ。

4.

i	ii	iii	iv
H	H	L	H

5.

婚姻関係にあるパートナーの家事分担などは文化によって決まっていたということ。

6.

D

3 著作権処理許諾が得られなかったため未収録

令和 8 年度 入学試験問題 医学部（選抜 I 期） 数学（その 1）

出題意図および解答・解答例

昭和医科大学 医学部アドミッション・ポリシーに基づき，中等教育における数学の正しい知識・能力を備えているかどうかを測る為、数学 I，II，III，A，B，C から偏りなく問題を作問した。以下に解答・解答例を示す。

1

<出題意図>

基本的な数学能力を測るために数学 I，II，A，B から代表的な問題を偏りなく出題した。

<解答>

(1) $20\ 250$

(2) 3

(3) 505

(4) 9

(5) 桁数：34

最高位の値：6

2

<出題意図>

ウォリス積分に関する問題を通じて、基本的な計算能力と論理的な思考の能力を測る問題である。

<解答例>

(1) I_n

(2) $\frac{n-1}{n}I_{n-2}$

(3) $\frac{\pi}{4n+2}$

(4) $\frac{\pi}{4}$

(5) $\frac{1}{\pi}$

令和 8 年度 入学試験問題 医学部（選抜Ⅰ期） 数学（その 2）

出題意図および解答・解答例

3

<出題意図>

二次関数の接線に関する問題を通じて、図形の幾何学的理解，微分の基礎的理解や計算する能力を測る問題である。

<解答例>

(1) 直線 ℓ の方程式： $y = ax - 2\sqrt{a}$

$$P\left(\frac{3}{\sqrt{a}}, \sqrt{a}\right), Q\left(\frac{1}{\sqrt{a}}, -\sqrt{a}\right)$$

(2) $\overline{PQ} = 2\sqrt{a + \frac{1}{a}}$ $d = 2\sqrt{2}$ $a = 1$

4

<出題意図>

基礎的な確率の問題を通じて、文意を正しく理解し計算する能力を測る問題である。

<解答>

(1) $\frac{1}{5}$

(2) $\frac{4}{25}$

(3) $\frac{16}{125}$

(4) $\frac{64}{125}$

(5) $\frac{20}{61}$

令和8年度 入学試験問題 医学部（選抜Ⅰ期） 国語（その1）
出題意図および解答・解答例

一

【出題意図】

近代科学と臨床（医学）における「人間存在の理解」のあり方を論じた評論文を用い、文脈把握や文章構成、語彙力を含む総合的な国語力を評価する。

【解答・解答例】

設問 1 事物や自然

設問 2 パトスの存在として運命づけられた痛みや苦痛から人間を解放すること。

設問 3 エ

設問 4 イ

設問 5 イ

設問 6 人間の強さを前提とする知

設問 7 私たちは外界の影響を受けざるを得ないからこそ周囲のすべての意味を問い、それらに対処するべく密接な関係を作ろうとするから。

設問 8 ウ

設問 9 対象化

設問 10 視覚

設問 11 記録や経験は長期の検証でその正否や信頼性を判定できる。

設問 12 ウ

設問 13 相互行為

設問 14 5

設問 15 a 免れる b 享受 c 否応 d 襲い e 曖昧

令和8年度 入学試験問題 医学部(選抜Ⅰ期) 国語(その2)

出題意図および解答・解答例

二一

【出題意図】

法的な内容を含む論考を論理的に理解する能力があるか、また、その内容を理解した上で、的確かつ正確に論述できる能力があるかどうかを見る。

【解答・解答例】

設問1 生命の価値に対する考え方が変わり、自死を道徳律に反するとして否定した裁判所の考えは、今は否定されたということ。

設問2 筆者は、ドイツ基本法によって保護された自己決定権は尊厳ある死のあり方の規定も同時に含んでいるとして、自己決定による自死を権利と考え、その反面として、人には生きる義務はないと考えているから。

設問3 エ

設問4 自死は自己決定権の行使であり、他人に迷惑等をかけない限り、他人や公衆を保護するための罰則を適用して禁止すべきまでの法益侵害とはいえないということ。

設問5 この規定は、刑法の理論に反するし、憲法上の限界を考慮していない上、立法府が持ちだした、死へ誘導するなどの危険は机上の空論ではないから。

設問6 自死自体は犯罪ではないものの、法改正により医師の臨死介助が罰則の対象となるので医師が関与を避けるため、平穏な死を迎えることができなくなり、悲惨な自殺しか方法がなくなるということ。

設問7 キリスト教会の議会への影響力が強大だったから。

設問8 自死は自己決定権の行使であり、それを幫助する臨死介助は、基本法により許容されているにもかかわらず、議会によりこれを禁止する法が制定されたのは不当であり、憲法裁判所によって破棄されたのは妥当である。

設問9 ㉠くみする ㉡英断 ㉢考慮 ㉣瀬戸際 ㉤射程